

2015年12月13日 主日礼拝

司 会 ①山田正兄 ②佐々木伸兄 ③浜田兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②石塚兄

賛 美 讚美歌106番「荒野の果てに」
(主の栄光宮に)

十 戒

聖 書 ①②ルカによる福音書1章57～66節 (P84)
③ ルカによる福音書1章26～38節 (P83)

音 楽 ① 坪井永城師
②③エタニティ DX

証 詞 ①②浅井克也兄(モーセ会)

メッセージ ①②「主は恵み深い～ヨハネ」 倉知契副牧師
③ 「なぜマリヤが選ばれたのか？」 大川従道牧師

賛 美 賛美歌121番「まぶねの中に」(献金)

頌 栄 「主の名を賛美しよう」 アーメン

祝 禱

「この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。
今からのち代々の人々は、わたしを

さいわいな女と言ってください。」

(ルカ一の四十八)

【大和ニュース】

☆メリークリスマス!! 来週がXマス主日礼拝(聖歌隊・アンサンブル・サインダンス)です。

・ 本日、入門講座Ⅱ、J.plus *SSXマス祝会(14:00)＝ご家族で楽しんで下さい。

* 東京カルバリー「音楽礼拝」は5時。特賛は塩浜姉妹のマリンバ二重奏。

大型バスは3時半出発。会場はハイアットホテル・センチュリーBと吉野。

・ 今週も祈禱会を大切に! 水曜夜(久保田師)、木曜朝(佐々木師) *和太鼓の

特別演奏あり。婦人会中心の祝会は、木曜12:50から。喜び爆発Xマスです。

・ 準備祈禱会は、金曜夜9時。説教は大野M主事。☆ICAマスは、15日(火)12時から。

* 今年も一年守られたことを感謝し「年末感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。

・ 泉チャペルの大掃除、土曜朝11時。みんなでおそうじ楽しいなア——!

* ご結婚おめでとうございます! 高麗(コマ)康宏様と田口怜子様。(11月28日)

石の枕

これは渡辺和子先生のお得意のお話である。

真山美保さんの作品に『泥かぶら』という一人の顔のみにくい子どもの話がある。みにくいが故に村の人々から嘲られ、子どもたちから石を投げられたりツバをかけられたりした。それを口惜しがっておこる少女の心はますます荒み、顔はみにくくなる一方だった。ところがある日のこと、その村に一人の旅の老人が通りかかり、竹の棒をふりまわして怒り狂う泥かぶらに向かって、次の三つのことを守れば村一番の美人になると教え、自分はまた旅をつづけるのであった。その三つのこととは、いつもにっこり笑うこと

自分のみにくさを恥じないこと

人の身になって思うこと

であった。少女の心は激しく動揺するが、美しくなりたい一心で、その日から血のにじむような努力が始められる。彼女の顔からいつしか憎しみが去り、その心はおだやかになってゆく。明るく気持のよい少女は村の人気者となり、子守にお使いにと重宝がられる者となったのであった。

そんなある日、同年輩の娘が人買いに買われてゆくのを知った泥かぶらは、喜んで身代わりとなり連れられてゆく。道々たのし気に村の様子を話し、自分がかわいがった村の赤子たちについて語る少女の心はいつか凶暴な人買いの心を動かしはじめたのであった。彼は前非を悔い、置き手紙を残して立ち去ってゆく。その手紙には、「ありがとう。美しい子よ！」と書かれてあった。そしてその時泥かぶらは、かつて旅の老人が約束した言葉を理解したのであった。

渡辺先生はこの話しをあちこちで語っておられる。よほどお気に入りなのであろう。わたしは何十年も前から、この話しをいつか「石の枕」に書こうと考えてきた。それは、クリスマスに黙想すべき「おとめマリア」について重ねて考えるからである。多分両親や友人から見離され、石を投げられる状況にあって、自分の人生を呪ってもおかしくないのに、ほほえみを忘れずに、主を信頼して歩み続けた少女。世界で最も美しい女性として、尊敬されて来た不思議な存在。

私たちも、神のご計画の中で生まれ生かされて来たことを忘れてはいけない。すべての理解できないマイナスも、必ず大きなプラスに変えられます。クリスマスを迎えるごとに、私たちの信仰も成長したいものです。

“恵まれた女よ、おめでとう、主があなたと共におられます”（ルカ1の28）

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース：黙示録4章～10章 Bコース：ヨエル1章～ミカ10章